

7月の野菜の見通し

平成30年6月29日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,891	並み	8,960	76	118%	94	2	0.0%	<p>【入荷見通し】 北海道産は低温や降雨で作柄にやや影響あり。青森産は作付面積が若干減少している。</p> <p>【価格見通し】 全体数量がさほど多くないことから値段が下がらず、荷動きは緩慢ながらも、相場は保合いが続く予想。見通し単価は90円で、前年よりやや高いが平年と同水準。</p>
キャベツ	16,597	並み	15,868	59	102%	76	-	-	<p>【入荷見通し】 群馬産は作柄良く前年よりやや多めの出回りで、岩手産は平年並みの数量を見込む。</p> <p>【価格見通し】 月を通して相場の山谷なく推移する予想で、見通し単価は60円と、前年並みだが平年比では大幅に安い。</p>
ねぎ	3,666	並み	3,830	354	96%	365	12	0.3%	<p>【入荷見通し】 茨城・千葉産は生育が順調で平年並みの出荷を見込む。6月下旬は降雨の影響で出方が鈍まる。</p> <p>【価格見通し】 6月下旬は入荷が鈍り相場は上向くと見込まれる。7月に入ると保合いで推移した後、下旬には給食需要の落ち込みで弱含みとなるだろう。見通し単価は340円で、前年・平年比で若干安い。</p>
きゅうり	7,255	並み	7,346	248	105%	266	353	4.9%	<p>【入荷見通し】 北関東産は例年より切り上がり早く、東北産の露地物は梅雨の影響で生育が遅れ気味。6月末～7月上旬にかけて一時、端境となる予想も。</p> <p>【価格見通し】 見通し単価は260円で、前年より若干高く平年比では同水準。</p>
トマト	8,742	並み	8,475	272	99%	309	382	4.4%	<p>【入荷見通し】 現在は冷え込みと曇天で着色が鈍いが、天候が回復すれば数量は出てくるだろう。北海道・青森・群馬など、各地作柄は良好。今後は玉伸びして2Lサイズの比率が高まるか。</p> <p>【価格見通し】 7月上旬まで相場は堅調に推移し、「海の日」の連休頃には全体量増加から弱含みに転ずる予想。見通し単価は270円で、安かった前年並み、平年比ではやや安い。</p>

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の入荷量と価格の見通し」(関東農政局)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)